

オープンスペーステクノロジー

創造的なミーティング手法

オープンスペーステクノロジーとは？

- ❁ OSTは「会議時間よりコーヒーブレイクの方が充実している」事実の発見から始まった。
- ❁ 参加者全員の主体性と情熱が引き出される、創造的なミーティング手法。
- ❁ コントロールのない、オープンで対等な場。誰も正解を持っていない。
- ❁ 流れにまかせ切ることで、カオスと多様性の中から自己組織化が起こる。まさにTTそのもの。

大きな問いと個別のテーマ

❁ Yes/noで答えられない質問を大テーマに据える。

❁ 今日の「大きな問い」は、

「日本／自分のジモトでどのようにトランジションを展開していけばいいか？」

❁ この問いから参加者が思いつく、みんなで話し合いたい、みんなの意見を聞きたい、小さな問い（テーマ）を挙げてもらう。

時間が十分にあれば
テーマ数を限定する必要はありません。

		セッション 1	セッション 2		セッション 3	セッション 4	
テーブル 1							
テーブル 2	導入			ランチ タイム			共有
テーブル 3							
テーブル 4							

4つの原則

- ❁ ここにやって来た人は誰でも適任者である。
- ❁ 何が起ころうと、起こるべきことが起こる。
- ❁ それがいっつしまろうと、始まったときが適切なときである。
- ❁ それが終わったときは、本当に終わりなのである。

2本足の法則（主体的移動の法則）

- ❁ 「このグループで自分は貢献できていない」
「このテーマはちょっと違ったかも？」
「どうもこの場に情熱が持てないなあ」
などと感じたら、立ち上がって他のグループにいつでも移動する自由がある。
- ❁ 蜂 次々にグループを渡り歩き、受粉していく存在。
- ❁ チョウ 休憩所にいることで、そこに人が集まって面白い会話や円滑な関係が生まれる。